

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： みかんの木 西立花

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	足りないと感じる事がある。	概ねされている。十分で無いと感じる事もある	机などの配置等の工夫。
	2 職員の適切な配置	概ね適切であるが、より充実させたい。	概ね適切である。	より広く使えるよう工夫する。充実させたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一日の流れ等、見て確認しやすいようにしている。	概ね適切である。	継続していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	概ねなっている。	概ねなっている。	より広く使えるよう工夫する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ご利用されている各個人にノートがあり日々の様子や変化を記入している。		活用の度合いを増やす。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	していない。		予定はない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	自社内での研修あり。		継続していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年に1~2回面談を行っている。		継続していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の内容が多く、集団の内容は少ない。	問題なく行われている。	集団活動も考慮していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	行っている。		継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	行っている。	行われている。	継続していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	行っている。		継続していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	行っている。	概ねなっている	継続していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	やや不十分に感じている。		活動のアイデアを増やす。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	目で見て確認できるようにしている。		継続していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	専用のノートを作成し共有できるように記入している。		より活用できるようにする。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳などの記載事項等を印刷し、残している。 専用のノートに日々の様子など記入している。		より活用できるようにする。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	誕生月とその半年後に行っている。		継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	参加している。		継続していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校や嘱託医と連携している。		継続していく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	緊急時の搬送先などを確認している。		継続していく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当者がいないため行われていない。		該当者があれば行っていく。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	学校の進路指導担当の先生と情報共有をしている。		継続していく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	あまり行われていない。		機会を増やす。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	行われていない。	なっていない。わからない。	機会を作っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域のお祭りなどに参加するなどしている。		継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	随時行っている。	なされている。	継続していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	行っている。	概ねなされている。	継続していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	行われていない。	どちらとも言えない。わからない。	機会を作っていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	随時行っているが、機会が足りないと感じている。	概ねできている。	継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談や送迎時、連絡帳などを通して聞き取りしているが、機会が少ないと感じている。	概ねなされている。	機会を増やしていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	行われていない。	されていない。	今のところ予定はない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応を心掛けている。何があったかの記録を残している。	概ねなされている。	継続していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせた配慮を行っている。	概ねなされている。	継続していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月発行している。	されている。	継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きの場所に保管している。	概ねなされている。	継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成、配布している。	されている。	継続していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年に1度程度避難訓練などを行っている。	よくわからない。	より分かりやすく行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	各店舗に担当を置き。定期的に情報交換を行っている。		継続していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	必要と思われる方に関しては、同意書を得ている。		継続していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者の方を通して行っている。		継続していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	専用のノートに記入。他店とも共有している。		継続していく。